

令和6年度事務事業評価（令和5年度事後評価）**教育部**

所属名	事務事業名	ページ番号
社会教育課	社会教育助成事業	2
社会教育課	星空学習館管理運営事業	3
社会教育課	青少年センター管理運営事業	4
社会教育課	地域学校協働活動推進事業	5
社会教育課	久米島町中学生交流事業	6
社会教育課	市民総参加子ども育成運動経費	7
社会教育課	金立教育キャンプ場事業	8
社会教育課	家庭教育支援事業	9
社会教育課	非行防止対策事業	10
社会教育課	子ども・若者支援事業	11
社会教育課	佐賀市二十歳のつどい	12

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	社会教育助成事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 総務企画係	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	多様な学習機会の提供	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	社会教育分野の振興を図るため、社会教育関係団体が実施する社会教育、青少年健全育成に関する事業に要する経費に対して補助を行い、その活動を支援する。				
事業の対象者	社会教育関係団体及びその活動に参加する市民				
令和5年度主な活動実績	8団体へ補助金を交付した。(佐賀市地域婦人連絡協議会、佐賀市PTA協議会、佐賀市私立幼稚園・認定子ども園PTA連合会、佐野常民顕彰会、佐賀市子ども会連絡協議会、佐賀市スカウト運動推進連絡会議、佐賀市青少年健全育成連合会、佐賀子ども劇場) 機会の公平性・有効性・公益性の観点から踏まえ、補助金等交付基準等の見直しを行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,420	4,237	4,304	4,310	
うち佐賀市の負担額	4,420	4,237	4,304	4,310	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域の人は子どもたちの教育に自立的にかかわっていると思う人の割合						%
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
55.5	60	57.8	60	53.2	60	56.5

成果指標②						単位
生涯学習を行っている人の割合						%
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
28.4	30	25.4	30	33.2	30	34.0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	団体の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響も4年目となり、その間のノウハウを活かしながらコロナ禍前の状況に概ね戻っている。



成果目標達成に向けた対応策等
有効性・公共性の観点から助成制度の見直しを図り、補助金を交付している各団体の活動の推進を支援していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	星空学習館管理運営事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 総務企画係	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	生涯学習施設の整備・運営	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	天体・科学に関する学習を推進することにより、生涯学習の振興を図る。				
事業の対象者	佐賀市民				
令和5年度 主な活動実績	・施設の貸館 (1,960団体 17,517人) ・天体・科学に関する事業の開催 季節ごとのイベントの実施 22回、656人 観望会 80回、960人 出前講座等 16件、979人				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,083	18,749	18,559	18,258	
うち佐賀市の負担額	16,180	17,750	17,377	17,969	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
延利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
14,323	21,000 13,951	21,000 15,898	21,000 17,517	21,000		

成果指標②						単位
利用者の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 99	100 99	100 100	100		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	貸館業務において新型コロナウイルス感染症の影響の終息や、出前講座や観望会等で利用者が大幅に回復した。



成果目標達成に向けた対応策等
市報、HP、さがんメールでの情報発信や、好調の出前講座等のPRを積極的に行うことにより、他の催しを含めた星空学習館全体の利用者増を実現する。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	青少年センター管理運営事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 総務企画係	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	青少年等に活動の場を提供し、健全な青少年を育成する。				
事業の対象者	佐賀市民、在学青少年				
令和5年度主な活動実績	・青少年センターの貸館（年間357日） 多目的室、和室、音楽室、音楽練習室（1, 2）、調理室、会議室（大、中、小）、個別学習室、フリースペース				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,309	20,513	20,095	18,359	
うち佐賀市の負担額	18,506	19,683	19,146	17,383	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施設利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
72,302	90,000 80,134	90,000 86,810	90,000 86,730	90,000		

成果指標②						単位
在学青少年利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60,448	75,000 65,617	75,000 71,581	75,000 70,557	75,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナの流行が落ち着き、利用者は回復している。



成果目標達成に向けた対応策等
学校の試験時期は、フリースペースに入りきれないほど多数の利用者がいる。そのため、事前に試験時期を把握し大会議室をフリースペースとして利用してもらうことで多くの利用者による活用を促していきたい。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域学校協働活動推進事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校・家庭・地域が連携・協力し、子どもたちの健やかな成長を育む環境づくりを推進する。 ※令和5年度より、「地域学校協働活動推進事業」、「放課後子ども教室推進事業」及び「学校地域連携支援事業」を統合した。				
事業の対象者	佐賀市民				
令和5年度 主な活動実績	【地域学校協働活動推進事業】令和5年度実施校 9校（北川副小、金立小、久保泉小、若楠小、小中一貫校松梅校、小中一貫校富士小、大詫間小、城西中、金泉中） 【放課後子ども教室推進事業】令和5年度実施校 6校（日新小、若楠小、小中一貫校松梅校、嘉瀬小、北川副小、新栄小）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	255	176	324	6,048	
うち佐賀市の負担額	85	60	108	4,896	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域の方は、子どもたちの教育に自主的に関わっていると思う市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
55.5	62.2 57.8	62.4 53.2	62.5 56.5	62.8		

成果指標②						単位
地域は、子どもたちに「地域の一員」として活動する場を作り出していると思う市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
46	61.1 48.2	61.2 45.9	61.3 51.3	61.5		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	地域教育コーディネーターを配置した学校に、「地域学校協働本部」や「地域学校活動推進員」の設置を促し、地域学校協働活動推進事業を推進することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と一体的に実施することを基本とし、コミュニティ・スクール担当部署との連携を図りながら実施校の拡充を目指す。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久米島町中学生交流事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	久米島町と佐賀市の中学生が夏季に佐賀市から久米島町を、冬季には久米島町から佐賀市を訪れて交流し、異なる双方の歴史や文化等への理解を深める。同時に、佐賀の偉人である第11代齋藤用之助の久米島や沖縄本島での功績を学び、郷土に対する誇りを持つ心を育む。また、参加者どうしの交流や集団行動により、自信と責任感の育成を図る。				
事業の対象者	佐賀市内の中学1年生				
令和5年度 主な活動実績	・H31年度 事業対象者数2,139人 参加人数16人 交流日数6日 ・R 2年度 事業対象者数2,122人 ※R 2年度事業中止 ・R 3年度 事業対象者数2,251人 ※R 3年度事業中止 ・R 4年度 事業対象者数2,229人 ※R 4年度事業中止 ・R 5年度 事業対象者数1,860人 参加人数16人 交流日数6日				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	—	—	240	1,664	
うち佐賀市の負担額	—	—	240	1,664	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
参加前より自分に自信がついたと思う参加者の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
—	100 —	100 —	100 93.3	100		

年度	目標 (%)	実績 (%)
R2	0	0
R3	100	0
R4	100	0
R5	100	93.3
R6	100	—

成果指標②						単位
団体行動の約束を守った、自覚ある行動ができたと思う参加者の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
—	100 —	100 —	100 80	100		

年度	目標 (%)	実績 (%)
R2	0	0
R3	100	0
R4	100	0
R5	100	80
R6	100	—

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	参加者の満足度も高く、佐賀市・久米島双方を訪れる体験により、双方の歴史を学び、直に交流することによる教育的効果は高い。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・事業を実施した当初から令和5年度まで、成果指標については2つともおおむね目標に達している。 ・本交流を通じ、参加者自らが自信を深め責任感や社会性を身につけることができるよう、交流プログラム等の検証を引き続き行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民総参加子ども育成運動経費	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	「子どもへのまなざし運動」の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	子どもが社会において保障されるべき様々な権利の尊重に努め、すべての大人が子どもの育成に関心を持ち、かつ、主体的に関わる社会を構築することを目的とした市民運動を展開する。「家庭」「地域」「企業等」「学校等」を4つの場として位置づけ、それぞれの役割を明確にした上で、行政も含めた連携、協働を図りながら子どもの育成に努める。				
事業の対象者	全ての市民				
令和5年度 主な活動実績	○市民総参加子ども育成運動推進委員会の開催（全体会1回、4分科会各1回、合同分科会1回） ○市民の認知度や関心を高めるための取り組み ・グッズ等（のぼり旗、ポロシャツほか）による視覚的啓発、「まなざしアーチ」を使った聴覚的啓発 ・運動実践者紹介番組「まなざし放送局」、「つながるさがし」等のSNS情報発信 ○市民が運動に共感し、実践に繋げるための取り組み ・まなざしキラリ賞の表彰、運動参加企業の募集やまなざし休暇の取得促進等の周知案内 ○運動参加企業：812社（令和6年3月末）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	8,780	8,849	7,272	4,478	
うち佐賀市の負担額	7,092	6,724	5,328	2,868	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域で青少年健全育成に取り組んでいると感じる市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
30.3	32 34.0	34 29.1	36 33.6	38		

成果指標②						単位
地域の方は、子どもの教育に自主的に関わっていると思う市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
55.5	58 57.8	60 53.2	62 56.5	64		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目標値にはわずかに届いていないが、まなざしアーチダンス動画の制作や、地域や学校等で出前講座を行うなど、様々な方法で幅広い層への周知・啓発活動を図った。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等、説明の機会を増やし、子どもへのまなざし運動推進専門官による周知広報活動を強化する。 ・地域や企業、学校などを巻き込みながら、認知度の向上を図り、市民総ぐるみの実践へと繋げていく。 ・子どもへのまなざし運動参加企業数を増やすことをはじめ、既参加企業の取り組みを広報する等、企業等の役割の重要性について周知を図る。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	金立教育キャンプ場事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 総務企画係	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	生涯学習施設の整備・運営	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	自然の中での共同生活を通じて、社会性、創造性、自然を愛する心を養うことによる青少年の健全育成を目的としている。場長（管理人）を配置し、施設の維持・管理及び施設・備品等の整備、貸し出し、野外活動の指導等の業務を行う。 【施設概要】テントサイト（30区画）、炊飯棟、調理棟、研修棟、多目的広場ほか				
事業の対象者	主に佐賀市民				
令和5年度 主な活動実績	金立教育キャンプ場の利用者数及び開場日数 利用者数：9,226人 開場日数：315日				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,747	4,788	4,782	5,016	
うち佐賀市の負担額	4,747	4,788	4,782	5,016	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施設利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
12,289	13,000 11,066	13,000 11,191	13,000 9,226	13,000		

成果指標②						単位
市内利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9,889	10,500 8,619	10,500 9,063	10,500 7,763	10,500		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	県営のキャンプ場がリニューアルした事や天候等の影響もあり、前年に比べ、利用者数は減少した。ゴールデンウィークと夏休み期間に実施したアンケートでは利用者の満足度が高く、キャンプニーズも高いため、目標を達成できると見込んでいる。



成果目標達成に向けた対応策等
金立教育キャンプ場の「少年を自然に親しませ、その健全育成を図る」という設置目的にそって、親子によるキャンプ体験を実施する。また、公民館や地域の各種団体の青少年向けの事業での利用を呼び掛ける。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	家庭教育支援事業	事業期間	令和 5 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	「子どもへのまなざし運動」の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	より多くの保護者に、家庭での教育等に関心を持ってもらい、全校区での家庭教育力の向上を支えることを目的として家庭教育講座を開催するほか、子どもとの良好な関係構築の支援のため、子育て応援情報配信事業（ペアレント・トレーニング動画配信）を行う。また、子育て中の保護者同士のつながりを作り、育児の孤立化を防ぎ、親の育ちを応援する共育応援モデル事業（なかまほいくプログラム）を実施する。				
事業の対象者	佐賀市民、市内小中学校をはじめとする教育にかかわる団体				
令和5年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座（新入学説明会を活用・その他の機会を活用した講座実施を含む） ・子育て応援情報配信事業（ペアレント・トレーニング動画配信） ・共育応援モデル事業（なかまほいくプログラム） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額				1,645	
うち佐賀市の負担額	-	-	-	1,645	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
家庭教育の大切さを認識した人の割合						%
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	
97	97.5	96.3	97.5		100	
					目標	
					実績	

成果指標②						単位
子育ての中で孤独を感じる人の割合						%
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	
-	-	-	20		15	
					目標	
					実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和5年度は基準値となるため、令和6年度の実績結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

家庭教育講座の受講者が家庭教育の大切さを認識した割合は高いことから、継続して小中学校に対し新入学説明会等での開催協力依頼を行う。また、「なかまほいく」においても、親としての気づきや学びを得る機会を確保し、育児の孤立化防止に取り組む。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	非行防止対策事業	事業期間	昭和 39 ~ 令和 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内全域の26校区・地区ごとに「まなざし育成委員」（126名）を委嘱し、街頭見守り活動を実施することにより少年の問題行動の早期発見、早期指導等に努め、少年の非行や犯罪を未然に防止する。また、青少年センターの子ども・若者支援専門官によるインターネット見守り活動を実施し、街頭見守り活動では見づらい青少年の問題行動等の把握に努める。				
事業の対象者	少年（市内6歳から18歳までの在学生及び有職・無職少年）				
令和5年度主な活動実績	市内各校区・地区においてまなざし育成委員による月4回の巡回指導を実施する。また、子ども・若者支援専門官によるインターネット上の見守り活動を実施する。				
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	8,944	8,879	9,374	8,864	
うち佐賀市の負担額	8,944	8,879	9,374	8,864	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
非行・不良行為に関する指導件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
38	35 35	30 24	20 1	20		

成果指標②						単位
ルール・マナーに関する指導件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,501	2,400 2,075	2,300 2,178	1,360 1,234	1,300		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目に見える形での非行・不良行為に関する指導件数は減少している現状を踏まえ、子ども・若者支援専門官（旧：専任補導員）の業務を見直し、街頭巡回活動を縮小したため目標値を修正した。 ルール・マナーの指導状況では、中高生の下校時のヘルメット着用等の自転車運転に関する指導が98.8%を占めている。巡回指導での地道な声かけもあり、自転車運転に関する指導を含め指導件数は減少しており、成果目標は概ね達成した。



成果目標達成に向けた対応策等
目に見える非行・不良行為は減少しているが、巡回活動では見づらいSNSに起因する青少年が関わる問題は、増加している。このことから、学校や警察等と連携し情報共有を行い、青少年の問題行動の実態の把握に努めていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	子ども・若者支援事業	事業期間	平成 28 ~ 令和 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市内のニート、ひきこもり、不登校等、社会的に自立した生活が送れないことや、社会生活上の対人関係に悩む子ども・若者やその家族を対象として、電話や面談による相談支援を実施する。また、就労や、就学に結びつくことを目指した適応支援プログラムや講座、教室等を開催し、社会的に自立した生活が可能となる支援を行う。				
事業の対象者	佐賀市に居住する40歳未満の者とその家族				
令和5年度 主な活動実績	佐賀市青少年センターに相談支援員を配置し、ニート、ひきこもり、不登校等の困りごとを抱える子ども・若者やその家族からの相談に対応する。相談の結果により、必要に応じて訪問支援を行う。また、支援対象者や家族を対象とした適応支援プログラムや講座・教室等を開催する。 令和5年度は支援対象者301人に対し事業を実施し、本人やその家族の来所・電話・訪問相談支援の総数は2,829件（延べ件数）。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,285	6,207	6,550	6,234	
うち佐賀市の負担額	6,285	6,207	6,550	6,234	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
改善状況調査人数（累計）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
224	250 252	275 271	300 316	325		

成果指標②						単位
状況が改善した人数（累計）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
178	200 191	220 208	240 230	260		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	支援対象者が抱える問題の性質上、進学や就職後直ちに支援終了とはならず、長期的な支援が必要となるケースが大半であるが、「改善状況調査」では累計で72.8%の者に、何らかの改善が見られ、進学や就業等の進路決定者も一定数出ている。 〔R5年度進路決定者 27名〕 ①進学 8名、②転学 2名、③学校復帰 2名、④就職(アルバイト・非正規) 10名、⑤就職(正社員) 1名、⑥就職(自営業) 1名、⑦福祉的就労 3名

成果目標達成に向けた対応策等

ひきこもり、不登校等、社会的に自立した生活が送れないことや、社会生活上の対人関係に悩む子ども・若者やその家族が、孤立しないよう、引き続き「子ども・若者支援室」の周知・啓発を行う。 ・ 関係機関や学校等との連絡会で周知カードの紹介 ・ 小・中学生保護者向けの「教育委員会メール」での紹介 ・ 市のホームページへの掲載 など

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市二十歳のつどい	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室	担当課長名	北御門 智子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	25家庭・地域・企業等の教育力の向上	
	基本事業	子ども・若者の健全育成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	改めて大人としての自覚を持ち、社会人として自立する若者の門出を祝福し激励するため、年度中に20歳を迎える方を対象に、二十歳のつどい（旧成人式）を開催する。令和5年度は旧市町村ごとの8会場で開催。				
事業の対象者	佐賀市の住民基本台帳記載や外国人登録の有無に関わらず、当該年度に20歳を迎える者				
令和5年度 主な活動実績	平成15年4月2日から平成16年4月1日生まれの方を対象に、市内8会場で二十歳のつどいを開催した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,677	5,669	4,179	3,347	
うち佐賀市の負担額	5,677	5,669	4,179	3,347	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
二十歳のつどい参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,809	1,800 1,796	1,800 1,986	1,800 1,849	1,800		

年度	目標	実績
R2	1,800	1,809
R3	1,800	1,796
R4	1,800	1,986
R5	1,800	1,849
R6	1,800	1,800

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	参加者数は目標値を達成している。ユーチューブ配信は、R3年度事業評価に基づき、R4からは未実施で、今後再開の予定がないため、成果指標から除外した。QRコードによる事前参加申し込みを行ったことにより、当日の受付業務の軽減と参加者アンケート回収率向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
令和6年度は、令和5年度の内容に準じた形式で開催する。ただし、統一会場での開催を望む声も多く、物理的にも全対象者が収容可能な施設がオープンしたため、令和7年度以降は対象者へのアンケートを実施するなど、統一会場での開催を検討する。